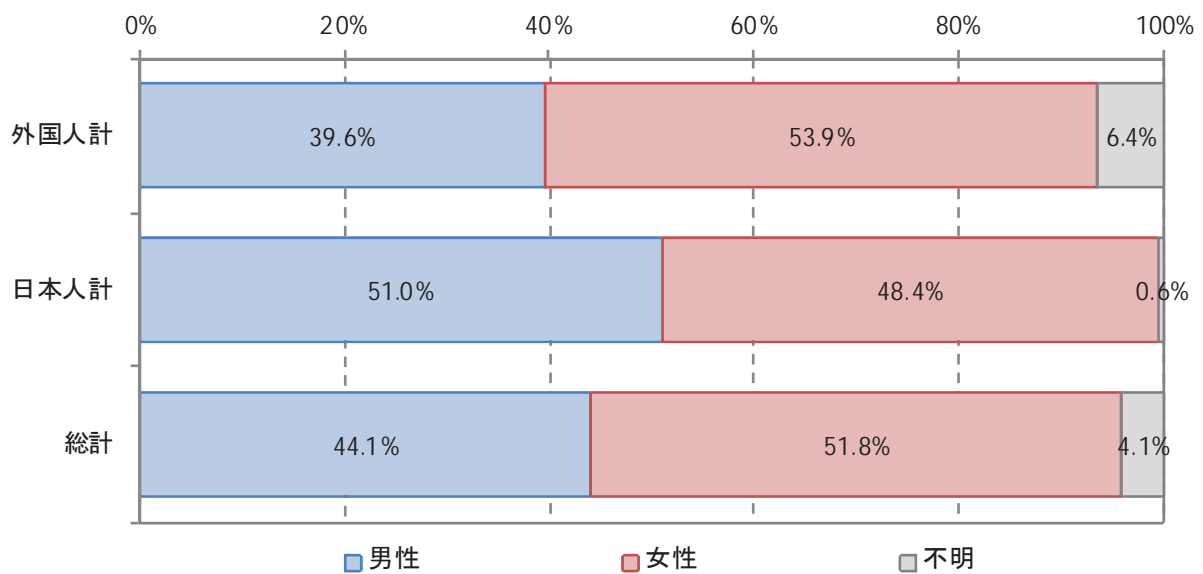


(2) 県外来訪者アンケートの集計結果

県外来訪者の交通手段選択モデルを構築する上での知見を得るため、アンケートから得られたサンプルの移動目的や交通手段等の集計結果を示す。

1) 性別

- ・外国人来訪者は約5割が女性で、男性は約4割である。
- ・日本人来訪者は男女割合が概ね半々である。



(サンプル数)

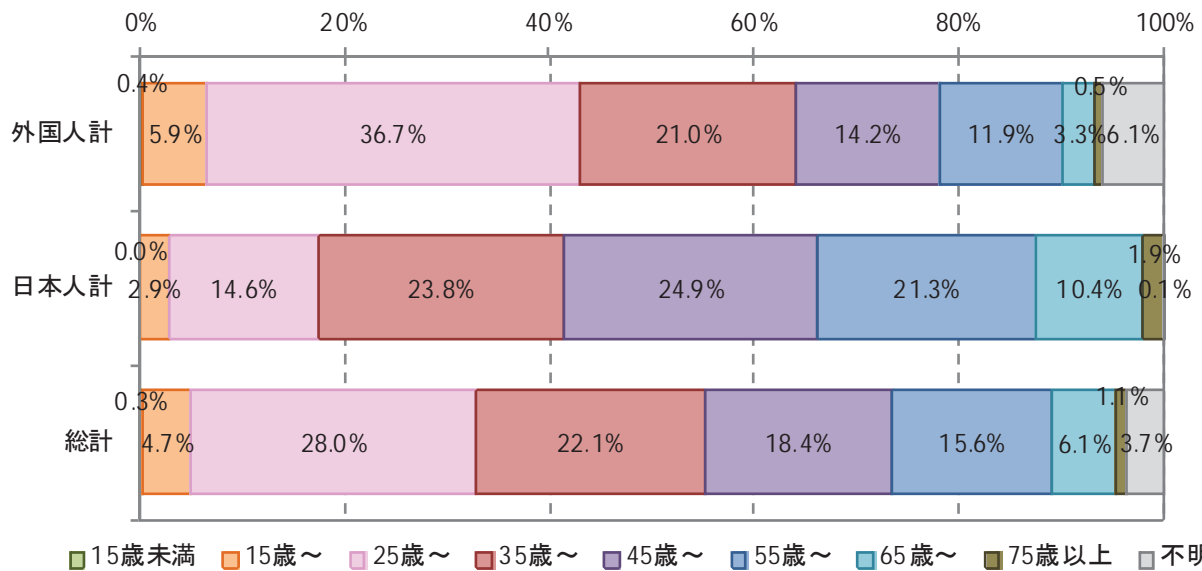
	男性	女性	不明	総計
中国	92	121	6	219
台湾	233	326	22	581
香港・マカオ	131	189	17	337
韓国	72	85	31	188
その他外国人	19	25	14	58
外国人計	547	746	90	1,383
日本人計	460	437	5	902
総計	1,007	1,183	95	2,285

※日本は沖縄県外来訪者を指す。(以下同様)

図 性別

2) 年齢階層

- ・外国人来訪者は 25 歳～が約 4 割と最も高い。
- ・日本人来訪者は 35 歳～、45 歳～、55 歳～がそれぞれ約 2 割である。
- ・外国人来訪者、日本人来訪者ともに多様な年齢階層から回答されている。



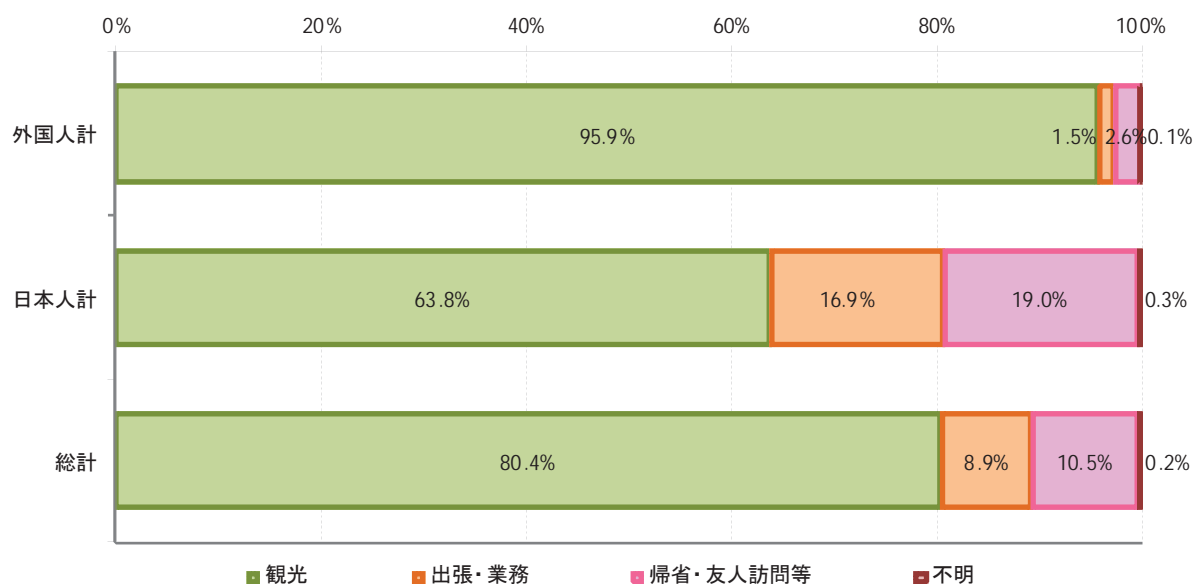
(サンプル数)

	15歳未満	15歳～	25歳～	35歳～	45歳～	55歳～	65歳～	75歳以上	不明	総計
台湾	4	36	205	117	91	80	25	4	19	581
中国	0	18	96	44	23	26	6	1	5	219
香港・マカオ	2	22	126	72	58	34	7	0	16	337
韓国	0	4	71	48	11	15	6	2	31	188
その他外国人	0	2	9	9	13	9	2	0	14	58
外国人計	6	82	507	290	196	164	46	7	85	1,383
日本人計	0	26	132	215	225	192	94	17	1	902
総計	6	108	639	505	421	356	140	24	86	2,285

図 年齢階層

3) 移動目的

- ・外国人来訪者は、約9割が観光目的である。
- ・沖縄県外からの日本人県外来訪者は、観光目的が約6割、出張・業務、帰省・友人訪問がそれぞれ約2割である。



(サンプル数)

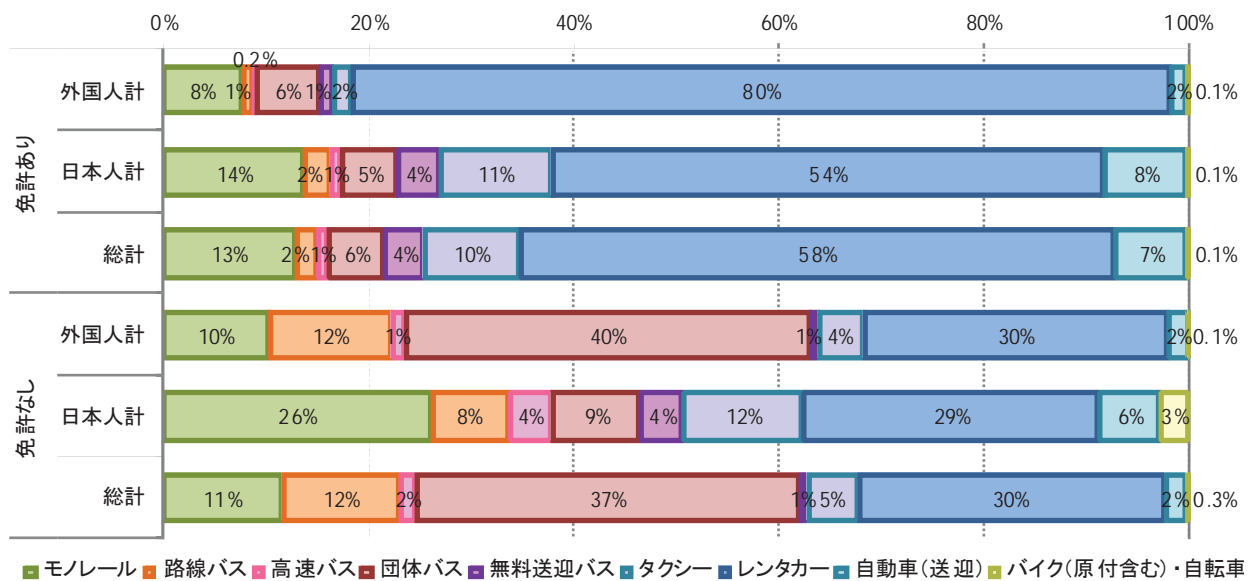
	観光	出張・業務	帰省・友人訪問等	不明	総計
中国	163	5	1	0	169
台湾	312	2	3	0	317
香港・マカオ	236	1	4	0	241
韓国	181	2	3	0	186
その他外国人	32	4	14	1	51
外国人計	924	14	25	1	964
日本人計	572	152	170	3	897
総計	1,496	166	195	4	1,861

図 移動目的

4) 交通手段選択

① 日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段

- ・日本で有効な自動車運転免許を保有している場合、外国人訪問者はレンタカーの利用割合が約8割となっている。
- ・一方、日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合、外国人訪問者は団体バスの利用割合が約4割となっている。



(トリップ数)

	交通手段 国籍	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	バイク (原付 含む)・ 自転車	総計
		免許あり	中国	1	0	0	5	0	0	23	0
	台湾	23	3	0	20	0	0	127	0	0	173
	香港・マカオ	8	4	0	17	5	3	221	0	1	259
	韓国	27	0	1	5	4	4	246	11	0	298
	その他外国人	4	1	1	4	2	8	29	2	0	51
	外国人計	63	8	2	51	11	15	646	13	1	810
	日本人計	594	105	50	234	175	471	2,320	346	4	4,299
	総計	657	113	52	285	186	486	2,966	359	5	5,109
免許なし	中国	61	79	11	375	5	42	59	28	0	660
	台湾	152	195	10	539	3	48	285	5	0	1,237
	香港・マカオ	93	90	13	199	10	36	527	1	0	969
	韓国	18	12	6	122	0	9	89	22	2	280
	その他外国人	9	10	2	50	0	7	6	3	0	87
	外国人計	333	386	42	1,285	18	142	966	59	2	3,233
	日本人計	69	20	11	23	11	31	76	16	7	264
	総計	402	406	53	1,308	29	173	1,042	75	9	3,497

図 日本で有効な自動車運転免許の保有有無別国籍別の交通手段

(参考)表 県外来訪者の交通手段別分担率

	交通手段 国籍	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	バイク (原付 含む)・自転車
免許あり	中国	3%	0%	0%	17%	0%	0%	79%	0%	0%
	台湾	13%	2%	0%	12%	0%	0%	73%	0%	0%
	香港・マカオ	3%	2%	0%	7%	2%	1%	85%	0%	0%
	韓国	9%	0%	0%	2%	1%	1%	83%	4%	0%
	その他外国人	8%	2%	2%	8%	4%	16%	57%	4%	0%
	外国人計	8%	1%	0%	6%	1%	2%	80%	2%	0%
	日本人計	14%	2%	1%	5%	4%	11%	54%	8%	0%
	総計	13%	2%	1%	6%	4%	10%	58%	7%	0%
免許なし	中国	9%	12%	2%	57%	1%	6%	9%	4%	0%
	台湾	12%	16%	1%	44%	0%	4%	23%	0%	0%
	香港・マカオ	10%	9%	1%	21%	1%	4%	54%	0%	0%
	韓国	6%	4%	2%	44%	0%	3%	32%	8%	1%
	その他外国人	10%	11%	2%	57%	0%	8%	7%	3%	0%
	外国人計	10%	12%	1%	40%	1%	4%	30%	2%	0%
	日本人計	26%	8%	4%	9%	4%	12%	29%	6%	3%
	総計	11%	12%	2%	37%	1%	5%	30%	2%	0%

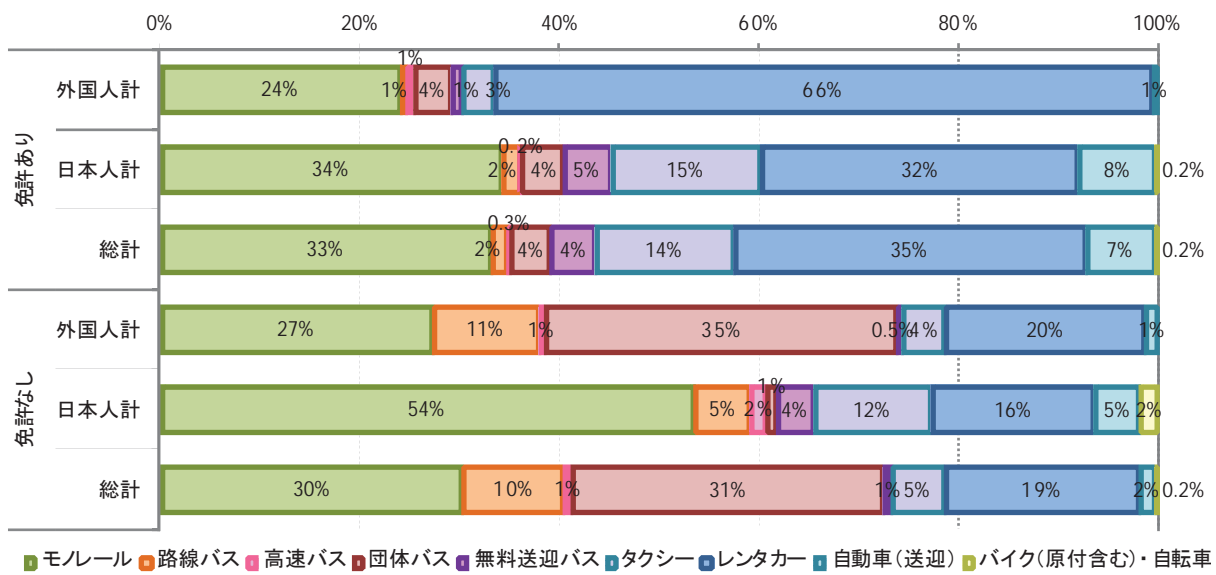
* 日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合でのレンタカー利用のサンプルについて

日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合でもレンタカーを利用したサンプルは、同行者が日本で有効な自動車運転免許を保有しており、同乗したサンプルと考えられる。例えば、香港・マカオが特に多く約5割となっているが、得られたサンプルを見ると、その内、2人以上の同行者がいる割合は約9割となっている。

③距離帯別での日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段

a. 10km 未満

- ・10 km未満の距離帯では、日本で有効な自動車運転免許を保有している場合、外国人来訪者はレンタカーを利用している割合が約7割となっている。一方、日本人県外来訪者は、レンタカーを利用している割合が約3割となっている。
- ・日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合、外国人来訪者は団体バスを利用している割合が約4割となっており、次いでモノレールを利用している割合が約3割となっている。一方、日本人県外来訪者は、モノレールを利用している割合が約5割となっている。
- ・保有の有無にかかわらず、日本人県外来訪者のタクシー利用の割合は、外国人来訪者と比較して多くなっている。



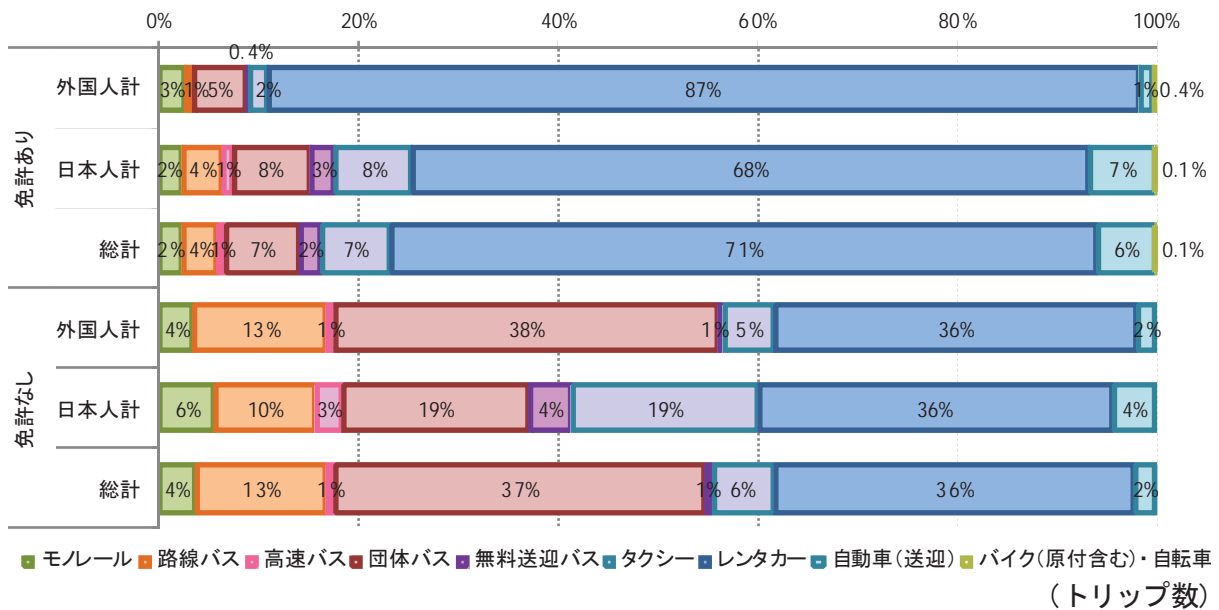
(トリップ数)

	交通手段	交通手段									総計
		モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	自動車 付含む バイク(原 付含む)	
免許あり	中国	1	0	0	0	0	0	4	0	0	5
	台湾	14	0	0	3	0	0	23	0	0	40
	香港・マカオ	3	1	0	2	1	2	49	0	0	58
	韓国	17	0	0	0	1	2	29	1	0	50
	その他外国人	4	0	1	1	0	1	1	0	0	8
	外国人計	39	1	1	6	2	5	106	1	0	161
	日本人計	474	25	3	56	66	207	439	107	3	1,380
総計	513	26	4	62	68	212	545	108	3	1,541	
免許なし	中国	44	14	2	91	2	10	7	2	0	172
	台湾	101	51	2	131	0	10	45	2	0	342
	香港・マカオ	68	19	1	42	2	12	105	1	0	250
	韓国	8	3	0	16	0	1	8	6	0	42
	その他外国人	6	1	0	13	0	3	0	0	0	23
	外国人計	227	88	5	293	4	36	165	11	0	829
	日本人計	59	6	2	1	4	13	18	5	2	110
総計	286	94	7	294	8	49	183	16	2	939	

図 日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段 (10km 未満)

b. 10～40km 未満

- 10km～40km 未満の距離帯では、日本で有効な自動車運転免許を保有している場合、レンタカー利用者の割合は、日本人県外来訪者が約7割、外国人来訪者が約9割と最も多く、外国人来訪者の割合は日本人県外来訪者と比較して多くなっている。
- 日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合、外国人来訪者は団体バス、レンタカーを利用している割合が約4割となっている。日本人県外来訪者は、レンタカーを利用している割合が約4割と最も多く、次いで、団体バス、タクシーが約2割となっている。
- 保有の有無にかかわらず、日本人県外来訪者のタクシー利用の割合は、外国人来訪者と比較して多くなっている。

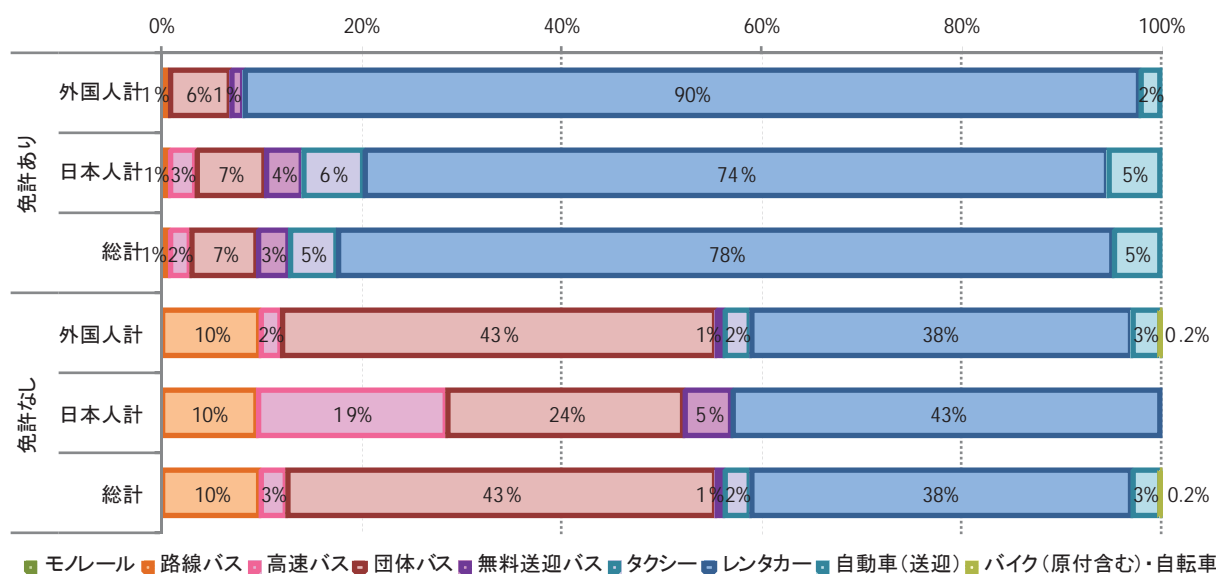


	交通手段	交通手段									総計
		モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	バイク 付含む (原 ・原)	
免許あり	中国	0	0	0	1	0	0	9	0	0	10
	台湾	3	1	0	4	0	0	48	0	0	56
	香港・マカオ	2	1	0	4	1	0	71	0	1	80
	韓国	1	0	0	2	0	0	65	3	0	71
	その他外国人	0	0	0	1	0	4	6	0	0	11
	外国人計	6	2	0	12	1	4	199	3	1	228
	日本人計	29	50	13	94	32	95	830	81	1	1,225
総計	35	52	13	106	33	99	1,029	84	2	1,453	
免許なし	中国	8	30	3	114	0	14	18	10	0	197
	台湾	19	54	2	139	2	24	120	1	0	361
	香港・マカオ	3	35	2	54	3	6	178	0	0	281
	韓国	3	3	0	32	0	2	18	6	0	64
	その他外国人	1	1	0	18	0	2	3	1	0	26
	外国人計	34	123	7	357	5	48	337	18	0	929
	日本人計	4	7	2	13	3	13	25	3	0	70
総計	38	130	9	370	8	61	362	21	0	999	

図 日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段 (10km～40km未満)

c. 40～80km 未満

- 40km～80km 未満の距離帯では、10km～40km 未満の距離帯と同様、日本で有効な自動車運転免許を保有している場合、日本人県外来訪者、外国人来訪者ともレンタカーの利用が約7割以上と最も多いが、外国人来訪者の割合は日本人県外来訪者と比較して多くなっている。
- 日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合、外国人来訪者は団体バスを利用している割合が約4割と最も多い。



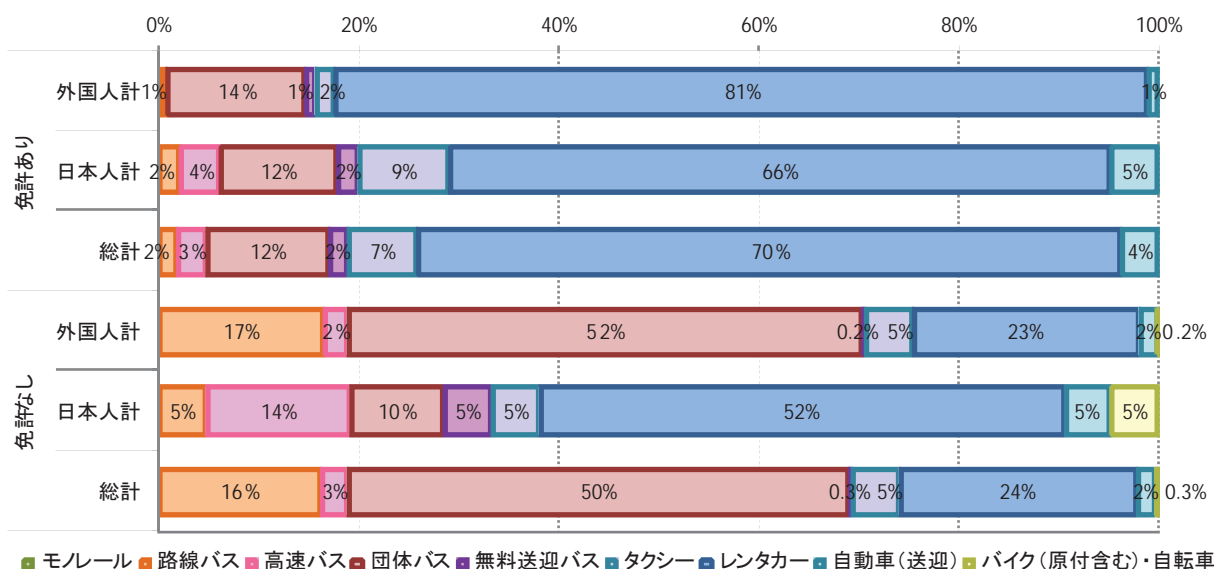
(トリップ数)

	交通手段 国籍	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	バイク (原付 含む)・ 自転車	総計
		免許あり	中国	0	0	0	0	0	0	1	0
	台湾	0	0	0	4	0	0	20	0	0	24
	香港・マカオ	0	1	0	5	1	0	51	0	0	58
	韓国	0	0	0	0	1	0	51	3	0	55
	その他外国人	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7
	外国人計	0	1	0	9	2	0	130	3	0	145
	日本人計	0	4	14	34	18	31	370	27	0	498
	総計	0	5	14	43	20	31	500	30	0	643
免許なし	中国	0	11	3	91	2	4	17	8	0	136
	台湾	0	26	3	83	1	2	56	2	0	173
	香港・マカオ	0	15	3	48	2	7	119	0	0	194
	韓国	0	1	1	15	0	1	21	6	1	46
	その他外国人	0	3	1	7	0	0	1	0	0	12
	外国人計	0	56	11	244	5	14	214	16	1	561
	日本人計	0	2	4	5	1	0	9	0	0	21
	総計	0	58	15	249	6	14	223	16	1	582

図 日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段 (40km～80km未満)

c. 80km 以上

- ・80km 以上の距離帯では、40km～80km 未満の距離帯と同様、日本で有効な自動車運転免許を保有している場合、日本人県外来訪者、外国人来訪者ともレンタカーの利用が約7割以上と最も多いが、外国人来訪者の割合は日本人県外来訪者と比較して多くなっている。
- ・日本で有効な自動車運転免許を保有していない場合、外国人来訪者は団体バスを利用している割合が約5割と最も多い。



(トリップ数)

	交通手段 国籍	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	自動車 (送迎)	バイク (原付 含む)・ 自転車	総計
		免許あり	中国	0	0	0	2	0	0	2	0
	台湾	0	1	0	9	0	0	24	0	0	34
	香港・マカオ	0	0	0	2	1	0	26	0	0	29
	韓国	0	0	0	0	0	2	27	0	0	29
	その他外国人	0	0	0	1	0	0	4	1	0	6
	外国人計	0	1	0	14	1	2	83	1	0	102
	日本	0	6	11	32	6	25	182	13	0	275
	総計	0	7	11	46	7	27	265	14	0	377
免許なし	中国	0	21	3	64	1	11	12	6	0	118
	台湾	0	55	2	167	0	8	50	0	0	282
	香港・マカオ	0	15	7	44	0	5	59	0	0	130
	韓国	0	2	1	14	0	2	8	4	1	32
	その他外国人	0	2	0	6	0	1	1	0	0	10
	外国人計	0	95	13	295	1	27	130	10	1	572
	日本	0	1	3	2	1	1	11	1	1	21
	総計	0	96	16	297	2	28	141	11	2	593

図 日本で有効な自動車運転免許保有有無別の交通手段 (80km 以上)

③ 日本人県外来訪者の目的別の交通手段

- ・観光目的の交通手段は、レンタカーの割合が最も大きく、約6割となっている。
- ・業務目的の交通手段は、レンタカーの割合が最も大きく、約3割となっている。また、モノレール、タクシーの割合もそれぞれ約2割となっている。

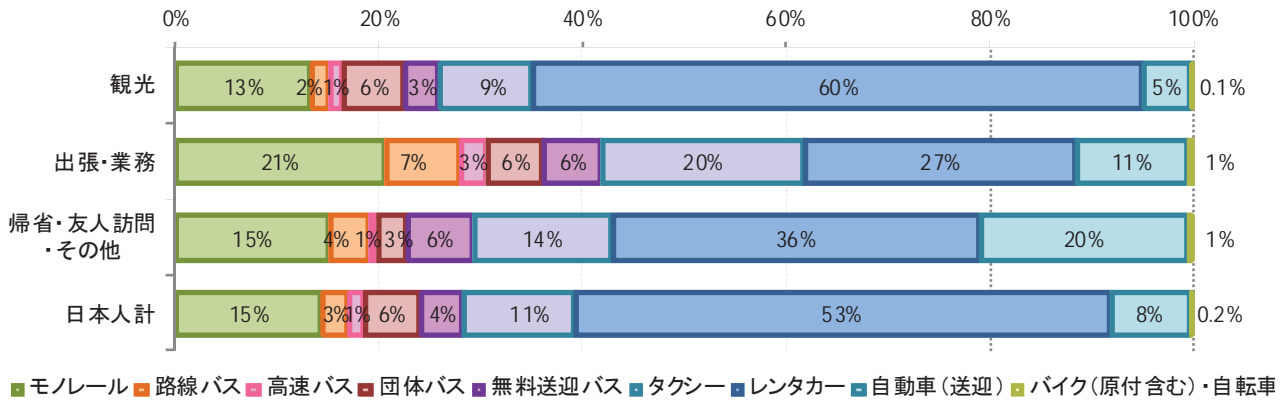


図 日本人県外来訪者の目的別の交通手段

(トリップ数)

目的	交通手段	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	(自動車 送迎)	車含む) バイク(原付) ・自転車	総計
観光		451	60	42	208	113	304	2,012	161	4	3,355
出張・業務		103	37	13	28	28	100	133	54	3	499
帰省・友人訪問・その他		109	28	6	21	46	98	259	147	4	718
日本人計		663	125	61	257	187	502	2,404	362	11	4,572

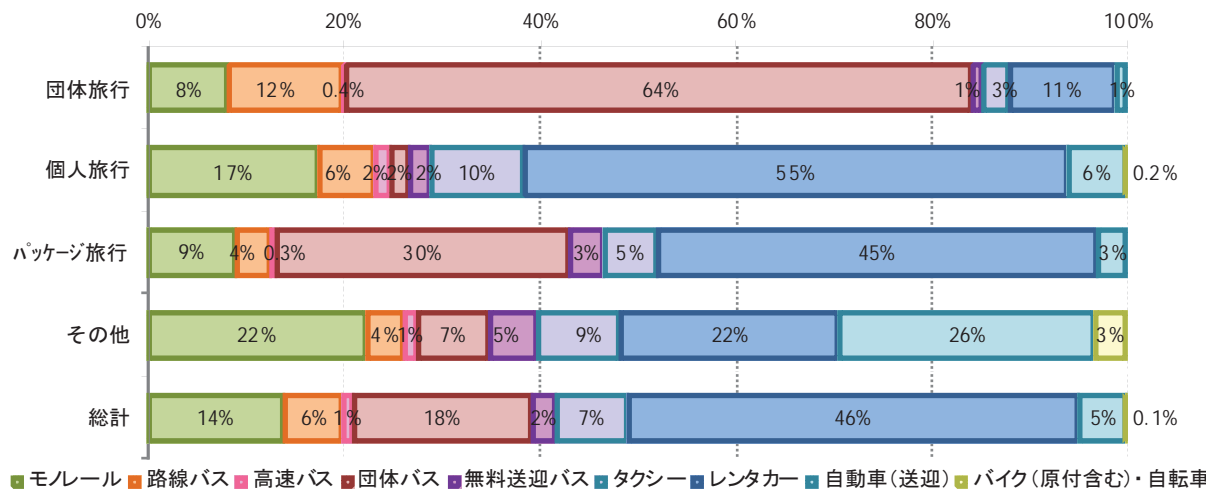
図 日本人県外来訪者の目的別の交通手段

(参考) 表 日本人県外来訪者の目的別の交通手段分担率

目的	交通手段	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	(自動車 送迎)	車含む) バイク(原付) ・自転車
観光		0.1%	2%	1%	6%	3%	9%	60%	5%	0.1%
出張・業務		1%	21%	7%	3%	6%	6%	20%	27%	11%
帰省・友人訪問・その他		1%	15%	4%	1%	3%	6%	14%	36%	20%
日本人計		0.2%	15%	3%	1%	6%	4%	11%	53%	8%

④ 旅行形態別の交通手段

- ・団体旅行の交通手段は、団体バスの割合が最も大きく、約6割となっている。
- ・個人旅行の交通手段は、レンタカーの割合が最も大きく、約6割となっている。また、モノレールが約2割、タクシーの割合が約1割となっている。



(トリップ数)

交通手段 \ 旅行形態	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	(自動車 送迎)	車 含む) バイク (原付 ・自転 車)	総計
団体旅行	98	137	5	756	13	30	128	16	0	1,183
個人旅行	865	283	82	94	111	473	2,755	303	8	4,974
パッケージ旅行	218	86	8	721	84	130	1,080	75	0	2,402
その他不明	33	6	2	11	7	13	33	39	5	149
総計	1,214	512	97	1,582	215	646	3,996	433	13	8,708

図 県外来訪者の旅行形態別の交通手段

(参考) 表 県外来訪者の旅行形態別の交通手段分担率

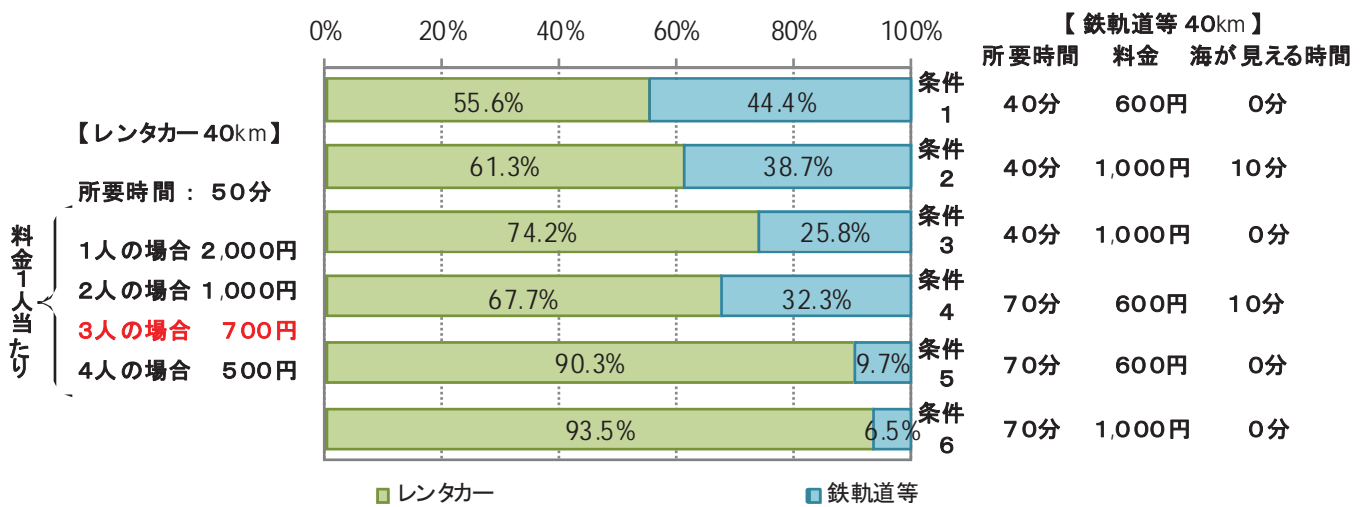
交通手段 \ 旅行形態	モノレール	路線バス	高速バス	団体バス	バス 無料送迎	タクシー	レンタカー	(自動車 送迎)	車 含む) バイク (原付 ・自転 車)
団体旅行	8%	12%	0.4%	64%	1%	3%	11%	1%	0%
個人旅行	17%	6%	2%	2%	2%	10%	55%	6%	0.2%
パッケージ旅行	9%	4%	0.3%	30%	3%	5%	45%	3%	0%
その他不明	22%	4%	1%	7%	5%	9%	22%	26%	3%
総計	14%	6%	1%	18%	2%	7%	46%	5%	0.1%

5) 鉄軌道等導入時の利用意向（レンタカーで乗車人数3人の回答者の場合）

以下では、鉄軌道等が整備された場合の所要時間や料金などの条件を設定して、レンタカーと鉄軌道等のどちらを選ぶかをアンケートした結果を示す。

a. 日本人県外来訪者 40 kmでの比較

- ・鉄軌道等が整備された場合の所要時間や料金などの条件で比較した場合、所要時間が短い方が選択割合が高くなり、料金が安い方が選択割合が高くなる傾向が見て取れる。
- ・海が見える時間がある場合は、海が見える時間がない場合よりも鉄軌道等の選択割合が高くなる傾向が見てとれる。



(サンプル数)

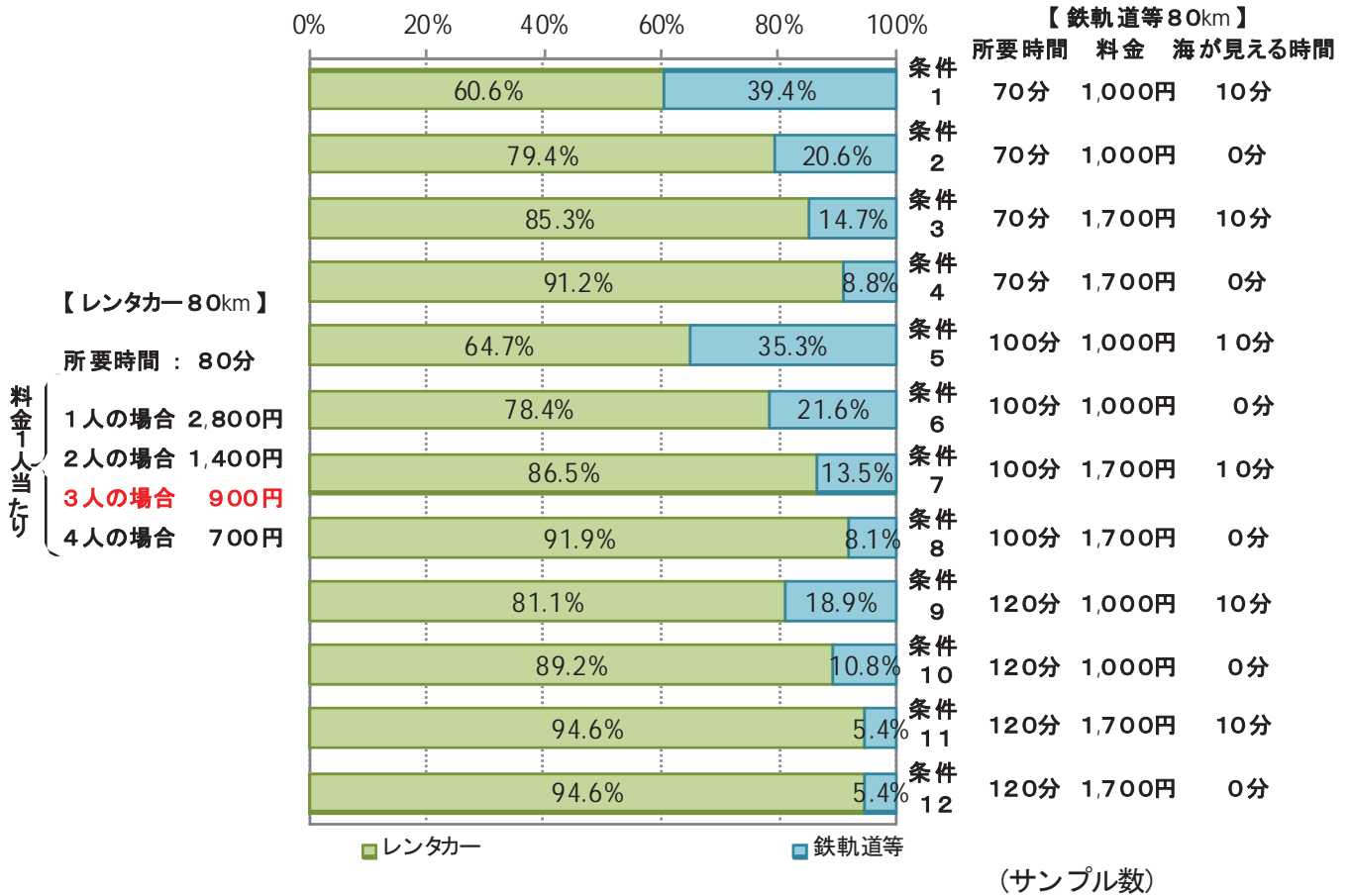
40km	鉄軌道等の条件			回答数		
	所要時間	料金	海が見える時間	レンタカー	鉄軌道等	総計
条件 1	40分	600円	0分	15	12	27
条件 2	40分	1,000円	10分	19	12	31
条件 3	40分	1,000円	0分	23	8	31
条件 4	70分	600円	10分	21	10	31
条件 5	70分	600円	0分	28	3	31
条件 6	70分	1,000円	0分	29	2	31

図 レンタカーと比較した場合の日本人県外来訪者の鉄軌道等の利用意向

* 日本人県外来訪者および外国人来訪者のレンタカー利用者の平均乗車人数は約3人であるため、代表して乗車人数3人の場合を示す。

b. 日本人県外来訪者 80 kmでの比較

・鉄軌道等が整備された場合の各条件（所要時間、料金、海が見える時間）の比較での傾向は日本人県外来訪者の40 kmでの比較の場合と同様の傾向が見て取れる。

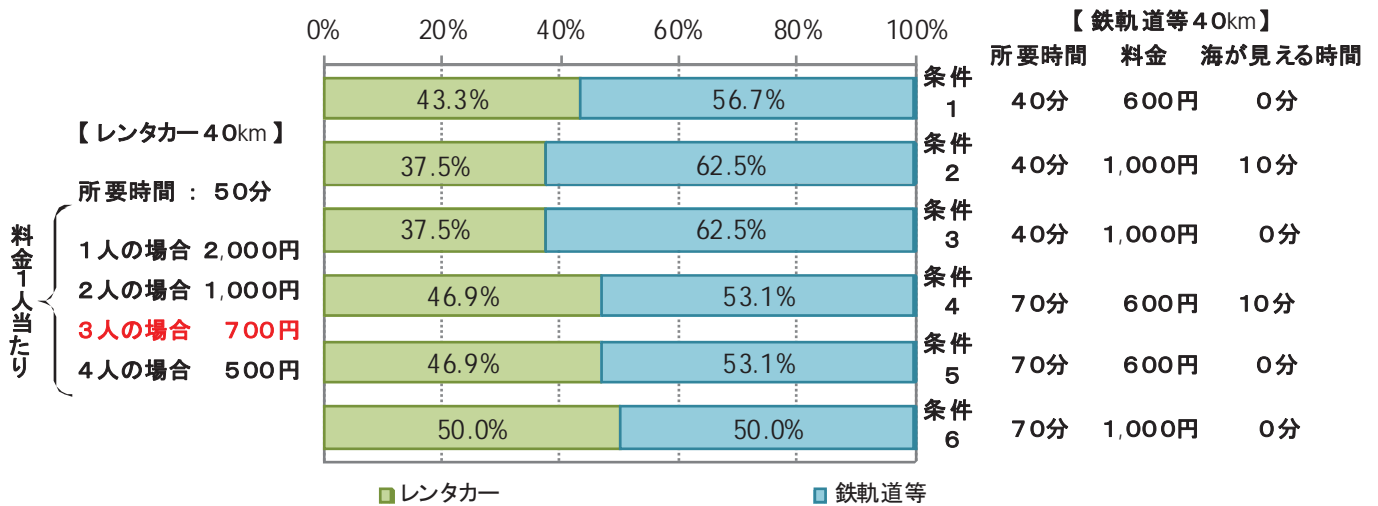


80km	鉄軌道等の条件			回答数		
	所要時間	料金	海が見える時間	レンタカー	鉄軌道等	総計
条件1	70分	1,000円	10分	20	13	33
条件2	70分	1,000円	0分	27	7	34
条件3	70分	1,700円	10分	29	5	34
条件4	70分	1,700円	0分	31	3	34
条件5	100分	1,000円	10分	22	12	34
条件6	100分	1,000円	0分	29	8	37
条件7	100分	1,700円	10分	32	5	37
条件8	100分	1,700円	0分	34	3	37
条件9	120分	1,000円	10分	30	7	37
条件10	120分	1,000円	0分	33	4	37
条件11	120分	1,700円	10分	35	2	37
条件12	120分	1,700円	0分	35	2	37

図 レンタカーと比較した場合の日本人県外来訪者の鉄軌道等の利用意向

c. 外国人来訪者 40kmでの比較

・日本人県外来訪者の傾向と同様に、鉄軌道等が整備された場合の所要時間や料金などの条件で比較した場合、所要時間が短い方が選択割合が高くなり、料金が安い方が選択割合が高くなる傾向が見て取れる。



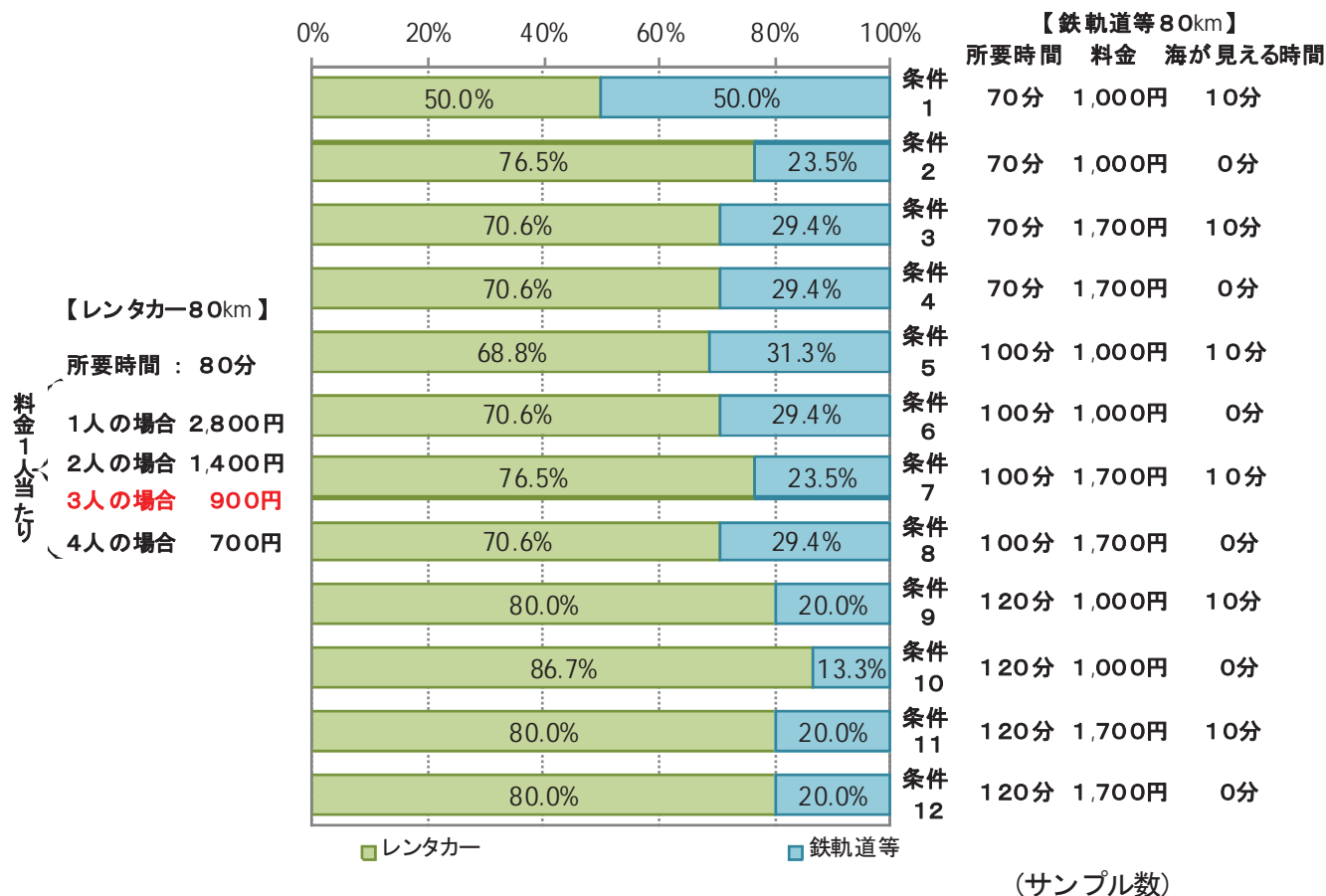
(サンプル数)

40km	鉄軌道等の条件			回答数		
	所要時間	料金	海が見える時間	レンタカー	鉄軌道等	総計
条件1	40分	600円	0分	13	17	30
条件2	40分	1,000円	10分	12	20	32
条件3	40分	1,000円	0分	12	20	32
条件4	70分	600円	10分	15	17	32
条件5	70分	600円	0分	15	17	32
条件6	70分	1,000円	0分	16	16	32

図 レンタカーと比較した場合の外国人来訪者の鉄軌道等の利用意向

d. 外国人来訪者 80kmでの比較

・鉄軌道等が整備された場合の各条件（所要時間、料金、海が見える時間）の比較での傾向は外国人来訪者の40kmでの比較の場合と同様の傾向が見て取れる。



80km	鉄軌道等の条件			回答数		
	所要時間	料金	海が見える時間	レンタカー	鉄軌道等	総計
条件1	70分	1,000円	10分	9	9	18
条件2	70分	1,000円	0分	13	4	17
条件3	70分	1,700円	10分	12	5	17
条件4	70分	1,700円	0分	12	5	17
条件5	100分	1,000円	10分	11	5	16
条件6	100分	1,000円	0分	12	5	17
条件7	100分	1,700円	10分	13	4	17
条件8	100分	1,700円	0分	12	5	17
条件9	120分	1,000円	10分	12	3	15
条件10	120分	1,000円	0分	13	2	15
条件11	120分	1,700円	10分	12	3	15
条件12	120分	1,700円	0分	12	3	15

図 レンタカーと比較した場合の日本人県外来訪者の鉄軌道等の利用意向

(3) 県民アンケート調査の実施

沖縄本島の居住者に対し、交通行動の実態及び鉄軌道等が導入された場合の利用意向を調査し、県民の需要予測モデル等の再構築の際の基礎データを得ることを目的としている。

① 調査実施日

平成 26 年 10 月 22～28 日（土日含む 7 日間）

② 配布・回収方法及び調査対象

訪問配布・訪問回収形式で実施した。なお、回答者属性の偏りを抑制するため、複数人世帯については、4 票まで調査票を配布し、世帯内人員の回収を行った。

調査対象は、本調査で設定した鉄軌道等のルート周辺に居住している世帯(配布地域は以下表参照)から調査員が現地で無作為に抽出した。

○ 母集団：沖縄本島居住者 1,266 千人（平成 22 年国勢調査）

③ 調査票の回収結果

県民アンケートの回収票数は、1,518 票となった。以下に地域別配布数及び回収数を示す。

表 地域別配布数及び回収数

市町村名	配布数	回収数	回収率*
対象地域全体	8,600	1,518	18%
那覇市	2,370	474	20%
宜野湾市	670	93	14%
浦添市	790	103	13%
名護市	440	158	36%
糸満市	420	27	6%
沖縄市	930	135	15%
豊見城市	400	45	11%
うるま市	850	123	14%
南城市	290	105	36%
国頭郡本部町	110	24	22%
国頭郡恩納村	80	1	1%
中頭郡読谷村	280	33	12%
中頭郡嘉手納町	100	18	18%
中頭郡北谷町	200	49	25%
中頭郡北中城村	110	4	4%
島尻郡与那原町	120	16	13%
島尻郡南風原町	250	61	24%
島尻郡八重瀬町	190	29	15%
住所不明・未記入	-	20	-

*：回収率＝回収数／配布数

④ 調査票

県民のアンケート調査は、次頁に示す調査票で実施した。

なお、鉄軌道等の利用意向は現在利用している交通機関とその移動条件（時間、費用）を前提に回答し、調査票については、鉄軌道等の条件設定（交通システム（鉄道、LRT）、所要時間、費用、導入空間（高架橋、地下・トンネル））がそれぞれ異なる 4 パターンの調査票を作成している（パターン A～D）。また、鉄道の整備効果についても、想定する負担金の金額設定がそれぞれ異なる 4 パターンの調査票を作成している（パターン a～d）。

これらの調査票を組み合わせ、16 パターン（4×4）の調査票を作成し、調査員が配布の際に無作為に配布した。